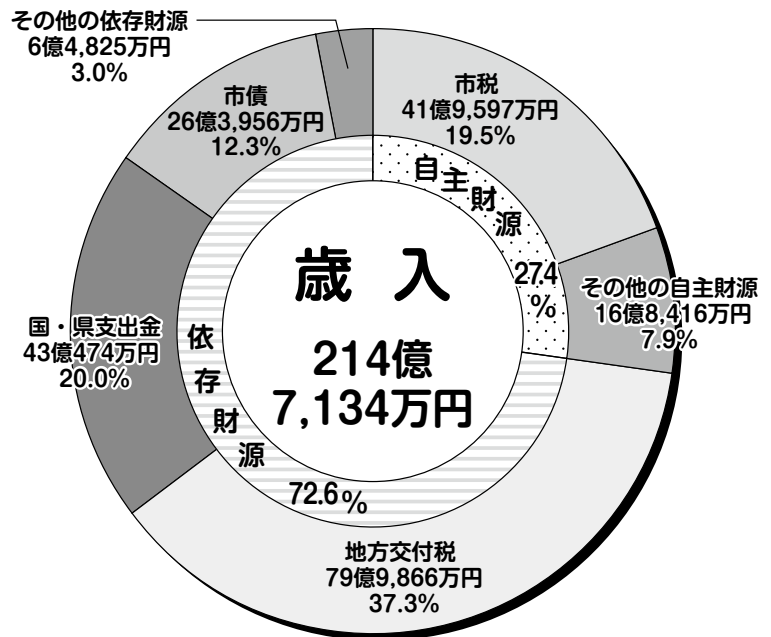
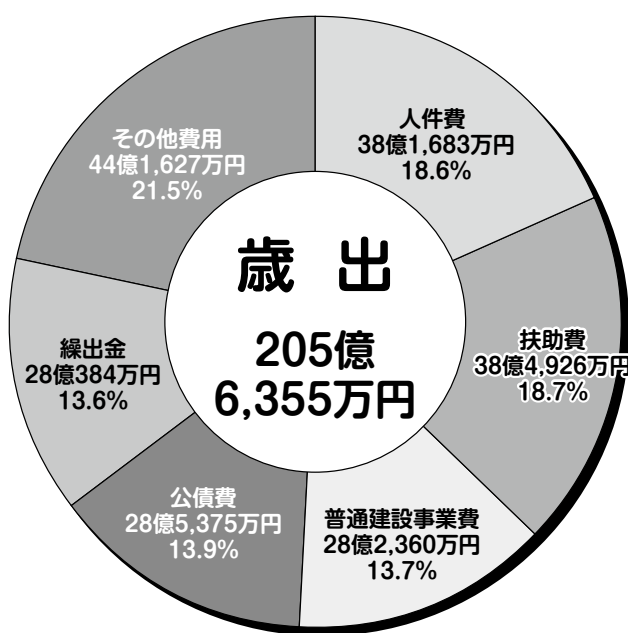


平成24年度 決算状況のお知らせ

平成24年度の一般会計、特別会計および企業会計の決算がまとまり、12月の定例議会で認定されました。市税や地方交付税などがどのような事業に使われたのかをお知らせします。

○一般会計の決算



歳出額は205億6,355万円（対前年比2・6%減）となりました。普通建設事業費は、北指宿中学校体育館建設工事など大規模な建設事業が終了し、前年と比べ5億8,356万円減少しました。また、その他費用は国民健康保険特別会計への繰出金が増えたことによる財政調整基金の積立が減少したことや、合併まちづくり基金への積立が終了したことなどにより、4億9,600万円減少しました。

歳入額は214億7,134万円（対前年比2・4%減）となりました。国・県支出金のうち県支出金は、降灰対策として野菜生産組合などへの補助事業の実施に伴い、前年と比べ1億1,600万円増加しました。一方で国からの交付金は、安全安心な学校づくり交付金を活用した事業が終了し、前年と比べ2億6,900万円減少しました。また、その他の依存財源も市営陸上競技場の改修工事が終了し、スポーツ振興補助金など1億9,500万円減少しました。

歳入・歳出の決算状況

■主な事業と決算額

利便性に優れた快適なまち	
道路新設改良事業費	2億7,269万円
デジタル防災行政無線設置工事費	1億9,639万円
資源と産業が結合し湯遊と暮らせるまち	
水産鮮度保持施設整備事業費	2億 55万円
活動火山周辺地域防災営農対策事業費	1億7,769万円
郷土を愛し未来を拓くこころ豊かな人材をはぐくむまち	
小・中学校耐震補強工事費	1億 165万円

みんなでつくる“人”と“環境”にやさしいまち	
ごみ処理事業費	5億6,135万円
管理型最終処分場整備費	5,432万円
すべての人が健康で安心して生き生きと暮らせるまち	
各種健康診断事業費	4億 386万円
指宿地区消防組合負担金	8億9,502万円
小中学校図書館空調整備工事費	1,909万円

○特別会計の決算

市には、次の表のとおり6つの特別会計があります。保険料や使用料など特定の収入があり、収入の使い道が決まっています、それぞれの収支を明らかにするため、一般会計と分けています。国民健康保険特別会計においては、平成23年度に引き続き、歳出額が歳入額を上回ったため、翌年度の歳入を繰り上げ平成24年度の歳入に繰上充用を行いました。原因としては、高齢者の占める医療費の増加や国・県からの補助金の削減などによるものです。

会 計 名	歳入 (A)	歳出 (B)	差し引き (A-B)
国民健康保険特別会計 (国民健康保険事業を運営するための会計)	78億 225万円	78億5,144万円	△4,919万円
後期高齢者医療特別会計 (75歳以上の人などの医療保険制度のための会計)	5億9,832万円	5億8,775万円	1,057万円
介護保険特別会計 (介護保険事業を運営するための会計)	42億6,030万円	41億4,069万円	1億1,961万円
温泉配給事業特別会計 (温泉配給事業を運営するための会計)	4,005万円	3,759万円	246万円
唐船峡そうめん流し事業特別会計 (唐船峡そうめん流しの管理運営をするための会計)	2億1,695万円	2億 817万円	878万円
公共下水道事業特別会計 (公共下水道の管理運営をするための会計)	10億 268万円	9億7,628万円	2,640万円

○公営企業会計の決算

市には、公営企業会計として水道事業があります。決算は次のとおりで、1年間の事業活動で得られる収益と費用を損益計算の形で表したものです。会社の経営成績に当たります。

会 計 名	収益的収入 (A)	収益的支出 (B)	差し引き (A-B)
水道事業会計 (上水道事業を管理運営するための会計)	7億5,576万円	6億6,728万円	8,848万円

業 務 の 状 況		
給 水 人 口	43,814人	市が飲料水を供給している人の数。
総 配 水 量	7,621,026m ³	飲料水として浄水場から送り出された総水量。
有 収 水 量	6,656,623m ³	総配水量のうち、水道料金収入が得られる水量。
有 収 率	87.35%	水道の総配水量のうち有収水量の割合。高いほど良好な指標。

平成24年度決算の総括

一般会計は、集中改革プランに基づいた行財政改革により、歳出が抑制されたことや国の緊急財政支援措置もあり、貯金である基金残高が増加するなど、財政状況は少しずつ改善しています。

しかし、平成28年度からは合併による財政支援措置が段階的に縮減され、平成32年度には終了することや老朽化が目立つ公共施設の整備を早急に行う必要があります。

また、国民健康保険特別会計は、3年続けて赤字決算となり一般会計からの繰出金により財源不足を補うなど厳しい状態が続いています。このような状況を踏まえると、今後の財政の見通しは厳しくなることが予想されます。今後も行財政改革をさらに進めるとともに、効率的・効果的な事業を実施し、より安定した財政基盤を確立するよう努めます。

問い合わせ先

財政課 財政係
☎ 2111 (内線141)

用語の説明

自主財源 ▼ 市町村が自主的に調達できる財源

依存財源 ▼ 国や県の意思決定に基づいて配分される財源

市税 ▼ 前年の所得や所有する固定資産に応じて市民が納めた税金

その他の自主財源 ▼ 市の施設などの使用料や窓口での手数料などのお金

地方交付税 ▼ 全国のまちで行政サービスに差が出ないようにするために国から交付されるお金

国・県支出金 ▼ 国や県が必要と認めた事業に対し配分されるお金

市債 ▼ 公共施設整備などのために借り入れるお金

人件費 ▼ 市長などの特別職や議員報酬、職員の給与に使った費用

扶助費 ▼ 児童福祉や生活保護、障害者支援などに使った費用

普通建設事業費 ▼ 公共施設や道路整備などに使った費用

公債費 ▼ 公園や道路などを造るため過去に借りたお金の返済に充てた費用

繰出金 ▼ 特別会計の運営を補助した費用

助した費用